(1) 「その他」の意見の詳細

問7 家族が寝たきりなどになった場合の介護について、あなたはどのように考えますか？

- 男、女、子にかかわらず時間、体力のある人が中心となりみんな協力して。
- 共倒れにならなよう病院、施設を考えた方が良い。

- 男、女と対立して考えるよりも 1. 向き不向き 2. 体力の強弱 3. 職業柄 4. 拘束可能時間の有無 5. 人間関係等も参考にした方が良いと思う。特に男の人は避けて逃げるところがあるので。この場合の ※向き不向きとは、性格が落ち着いているとか、気が長い短いか、前向きか。
- それぞれ状況が異なるので一般論を言っても意味がない。その時その場でみんなで協力しなければ続けられない。
- 状況により一概には言えない。
- 介護される人が良ければヘルパーなどを入れて「誰か」に負担が多くかかる事は避けるべき。介護保険を利用する。
- 介護できる家族がいればその人(男女問わず)がやれば良い。いないか、全てを出来なければ介護専門員に頼んでもいいと思う。
- 実子8割、配偶者2割くらい。
- 家族に負担を強要してはいけない。
- 実子が介護すべきとは思いますが仕事や時間、介護内容による体力、金銭的な事情ではお互い融通すべきだと思う。義家族の介護を任せきりなのはもってのほか。
- 専門家に任せる。
- 子供の配偶者・孫が相談して出来る事をすればいい。力仕事は働いていても男性、買出しは孫でもできるから。子供の配偶者・孫が相談して出来る事をすればいい。力仕事は働いていても男性、買出しは孫でもできるから。
- 下の世話もあるので女性の方が向いていると思う。
- その時の状況でできる方がやればいい。
- 公共・民間サービスを利用すべき。
- ケースバイケースである。設問が悪い。
- ケースバイケースで出来る人が出来るタイミングでやる。
- 話し合っ決めて。施設も考えるがお金がないと駄目なので相談みれる人がみる。
- ②にしましたが現実には男性は仕事がありなかなか出来ず女性の仕事になっている。男性も意識だけでも変わってほしいものですがね！

問9 今後、男性が女性とともに、家事・子育て・介護・地域活動に積極的に参加していくためには、どのようなことが必要だと思いますか？

- 義務教育の中で指導する
- 子供の頃からの社会教育
- 男性の時間の余裕
- 1年間、やっている事をやってみる。世の中が許されればの事だが。見ると聞くとでは大違い。女性の脳の使われ方がいかに幅広いか。
- 失敗を恐れずチャレンジする。

問11 「男女共同参画社会」を実現するため、今後、市はどのようなことに力を入れていくべきだと思いますか。

- 意味がわからない
- 難しい問題だ
- 男女共同参画社会の意味がわからない